

看護師混注鑑査システム

# AddDis-Swing

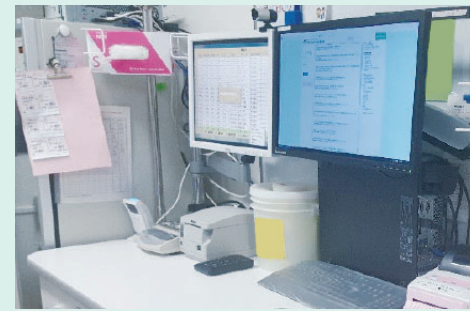
アドディス スウィング

輸液ラベルと対象の薬品をバーコードで簡単チェック。  
看護師の注射薬業務をスムーズに、便利に、正確に。

2WAY カートタイプだから移動も簡単、運用に合わせて固定設置も可能です。

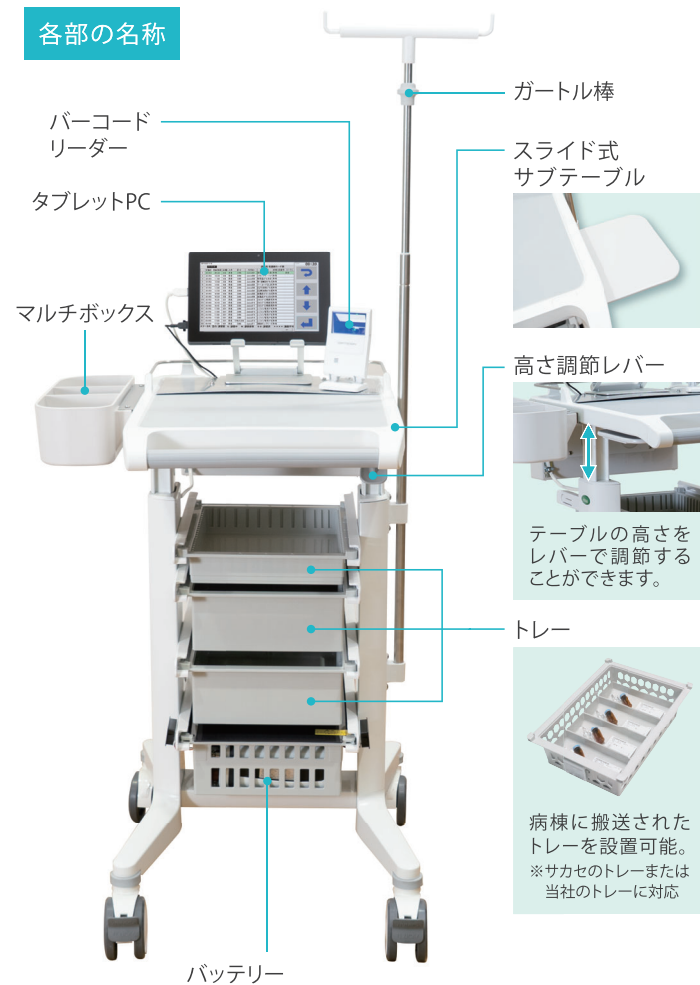


ICU・NICU等ではカート患者さまのベッドサイドまで運び、その場ですぐに薬品のチェックと調製ができます。



NICUでの固定設置例です。

各部の名称

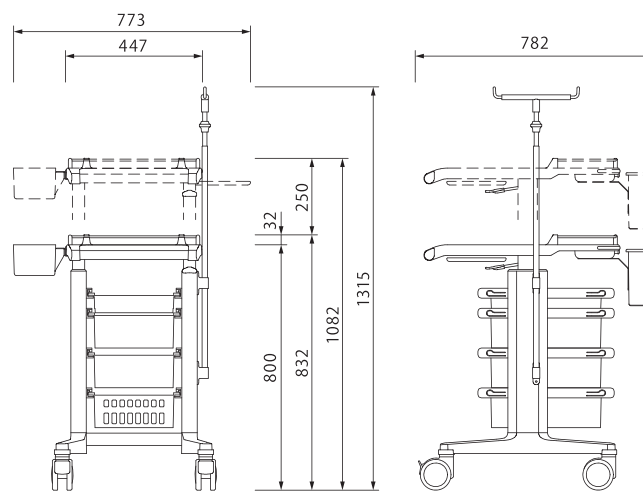


仕様

仕様項目	
名称	看護師混注鑑査システム
型式	AddDis-Swing
本体サイズ*	W773mm×D782mm×H1315mm

\*本体サイズにビスなどの突起物は含まれません。

寸法 単位 [mm]



※製品改良のため仕様・構成などを予告なく変更させていただく場合がございます。  
※本カタログは印刷のため実際の製品と色合いが多少異なる場合がございます。  
※カタログ掲載内容は2024年8月現在のものです。

**TOSHO** 株式会社トーショー  
本社 〒144-0033 東京都大田区東糀谷3-8-8  
TEL: (03) 3745-1331 (代)

トーショー公式サイトはコチラ▶  
<https://www.tosho.cc/>



○製品ご購入に関するお問合せ・ご相談は上記連絡先までお願い致します。

▼詳しくはこちら



# Case Study

注射薬鑑査業務(注射混注業務)において、特に重要な課題となっているのは、

**調製の過誤** **進行状況の共有・確認** **調製や鑑査を行う人員配置** の3つ。

AddDis-Swingはこれらの課題解決をシステムでサポートします。

## Case1 調製の過誤



処方内容と薬品のチェックをAddDis-Swingで行うことで、**インシデントの防止になります。**

06/24	09:00	0001	外来	CAN	demo001	液体薬品デモ患	外科		
06/24	10:30	0002	外来	CAN/特殊	demo002	シリンジモード患	外科		
06/24	11:00	0003	外来	CAN	demo003	粉薬品デモ患	外科		
06/24	13:00	0004	外来	CAN	demo004	粉・溶解液デモ患	外科		
5	06/24	13:02	0005	外来	CAN	demo005	バーコードなし患	外科	
6	06/24	15:00	0006	外来	CAN	demo006	【風邪】採取デモ患	外科	
7	06/24								
8	06/24								
10	06/24								
11	06/24								
12	06/24	16:45	0007	外来	CAN	demo007	【風邪】採取デモ患	外科	
13	06/24	17:00	0010	外来	CAN	demo010	レジメン管理デモ患	外科	
14	06/24	17:00	0010	外来	CAN	demo010	レジメン管理デモ患	外科	
15	06/24	17:00	0010	外来	CAN	demo010	レジメン管理デモ患	外科	
16	06/24	17:00	0010	外来	CAN	demo010	レジメン管理デモ患	外科	

調剤データが未受信かバーコードが不正です。ラベルを確認して下さい。

## Case2 進行状況



AddDis-Swingの進捗モニターは、調製状況の表示・共有が可能。各処方の進行状況をひと目で確認することができ、「いつ・誰が・どの準備をしたのか」の記録を残せます。

時刻	患者ID	処方ID	調剤者	調剤状況	備考
13:00	demo004	01	外来 CAN demo004	調剤中	調剤完了
09:00	demo001	01	外来 CAN demo001	調剤完了	調剤完了
10:30	demo002	01	外来 CAN demo002	調剤完了	調剤完了
11:00	demo003	01	外来 CAN demo003	調剤完了	調剤完了

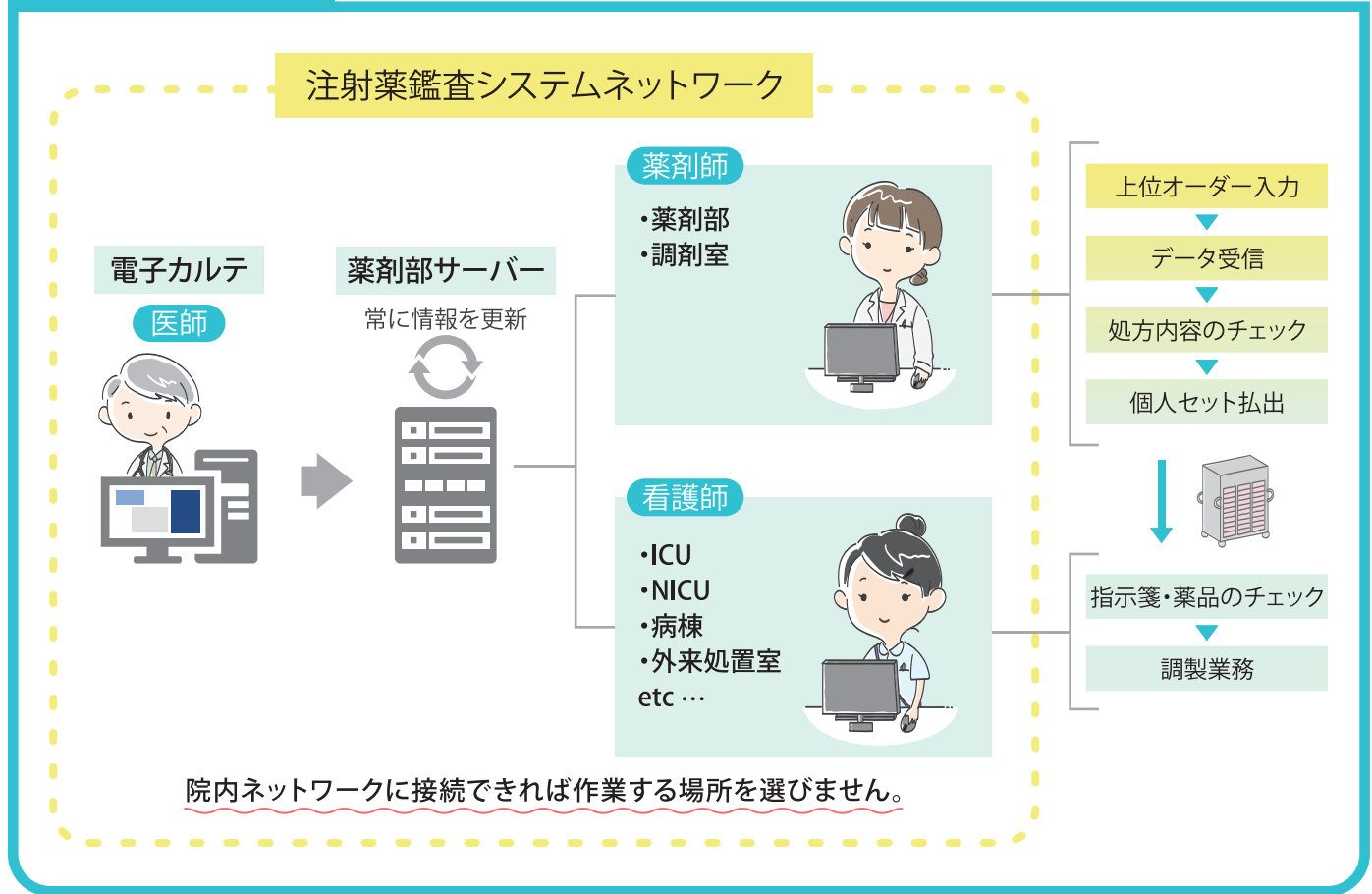
## Case3 人員配置



注射薬鑑査業務は医療スタッフによる二重チェックが必要とされています。AddDis-Swingのシステムを活用すれば、**院内のどこでも簡単に二重チェックができます。**

担当者バーコードを読み込んでください。  
0000

## システムの流れ



## 操作手順

簡単に操作できるため、作業者の経験値に左右されず、誰でも正確な調製が行えます。

- 01 ログイン**  
担当者バーコードをスキャンしてログインすることで、「誰が・いつ・どんな作業を行ったか」を履歴として保存します。
- 02 輸液ラベルのスキャン**  
輸液ラベルのバーコードをスキャンし、患者さまや薬品の情報を呼び出します。鑑査に必要な情報が簡単に確認できます。
- 03 薬品のスキャン**  
使用する薬品のバーコードをスキャンすると、調製する注射薬に対して正しい薬品かどうか、システムが照合します。
- 04 混注作業の実施**  
照合が終了すると患者さま氏名の横に「調製済」のステータスが表示されます。ステータスを確認後、混注作業を行います。